



かわいい傍聴者がいっぱい！！

この度の定例会において、茂尻小学校と豊里小学校の6年生のみなさんが、議会の様子を見学・傍聴に来てくれました！子どもたちも緊張した様子でしたが、私たち議員も大きな刺激をいただいた1日となりました。

あかびら市議会

かわら版

No. 41

第4回定例会は、12月13日から16日までの4日間の日程で開催され、公の施設の指定管理者の指定（保養センター外3施設）や農業委員定数条例の改正など議案12件、意見書案6件を原案どおり可決し閉会しました。また、15・16日の2日間にわたり、8名の議員が次のとおり一般質問を行いました。

手話条例制定に向けて！

市民のみなさまのご意見を募集します！

行政常任委員会では、平成27年から28年にかけて手話言語の環境整備について調査等を行ってきました。その内容は、手話言語条例を制定している市町の視察に行ったり、ろう者の方々や関係団体との意見交換などを通じ、それぞれの状況把握に努めてきました。5年前に障害者基本法が改正され、手話は言語として国も認知しました。委員会では、このことを市民の皆さんにも理解をしていただき、より多くの人に広めていきながら、ろう者の方々と市民の皆さんがともに社会参加できるまちづくりを目指し、条例制定に向け、活動していくことを確認いたしました。現在、市民会議を立ち上げ、条例制定についての話し合いを進めていますが、市民の皆さんからもご意見等をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



↓意見等の送り先↓ 締切日 1月27日

メール: gikai@city.akabira.hokkaido.jp

電話: 32-1858

あけまして
おめでとう!



一般質問

日本共産党



木村 恵

介護予防新総合事業

について

○チエックリストについて

【質問】国はチエックリストで判断し、簡便にサービスにつなげると言うが、チエックリストを優先すると必要なサービスが受けられないことも考えられる。当市の方針は。

【答弁】介護予防サービス希望者には従前同様に介護認定申請をしていただく。判定の結果、軽度で非該当となった方及び当初から新たなサービス利用のみ希望する方に対して、チエックリストの対象としていく。

○新たなサービスについて
【質問】非該当になったが不安がある方などに行っていく新たなサービスに対する方針は。

【答弁】通所型では社協に委託している介護予防教室「かえで」、ボランティア主体の高齢者サロンやコミュ

ニティカフェ、ゆる元体操など。訪問型ではボランティア主体の見守り、話し相手、ごみの分別排出などを行っていく見込み。

○エリアサポーターについて

【質問】ボランティアの担い手であるエリアサポーターについてどのような状況か。

【答弁】現在78名のエリアサポーターが誕生している。市内6地区に分かれ協議し、一部地区においては試験的に活動もしている。サポーターのやりがいや、支援を受ける側の期待など確実に継続して行くために有償ボランティアとすることを予定している。



民主クラブ



伊藤新一

子育て支援について

【質問】保育士不足、保育士の待遇改善について、どのように考えているか。

【答弁】保育士の確保についてはハローワークに求人票を出したり、保育士等が持つている情報を参考にしたりしながら取り組んでいる。保育士の待遇改善については、市全体の職員配置計画や待遇を検討する中で、どのように対応することが良いのか検討していきたい。

【質問】兄弟で別々の保育所に通っているお子さんがいると聞いているが、赤平市の二か所の保育所の受け入れ状況を伺いたい。
【答弁】年度途中に入所したい子供が生じた場合、定員や保育所の面積基準の関係から必ずしも希望する保育所に入れないこともあり、現在文京保育所に入所を希望していたが保護者の了解を得て若葉保育所に入所している子供が2名いる。希望者全員の受け入れ状況については特定年齢の子供に

限り、入所しづらい状況が発生している。保育所の入所児童については認定子ども園ができるまでの間、待機児童が出ることはないよう努めたい。

【質問】赤平市で病児・病後児保育はできないか。

【答弁】病児・病後児保育を実施するためには保育士等の従事者と専用のスペースを確保することが国の基準で定められている。現在の赤平市の状況では、この両条件とも完全に満たすことは困難であるが、子育てを行う上で、この制度に対する要望もあることから、保育士確保の目途がついた時点で検討をしていきたい。

環境衛生について

【質問】ゴミステーションのゴミかごについて平成27年12月にも質問し、1年が経過したが今現在どのような状況になっているのか。

【答弁】現在、調査と並行し補助要綱の準備を進めており、先進市町村の助成内容を参考としながらゴミかごの規格など助成内容を検討し、来年度実施に向け準備を進めている。各町内会に対しては、助成内容等をお知らせさせていただく。

◎ 意見書 6件 可決

- ・地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書
- ・「米政策改革」に対する稲作農家の不安を払拭し経営の安定と担い手経営の再生産の確保を求める意見書
- ・地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書
- ・安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書
- ・過労死防止の抜本対策の強化と労働基準法改正案の見直しを求める意見書
- ・国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書



新政クラブ



御家瀬 遵

しごと・ひと・まち 創生総合戦略の進捗 状況について

【質問】住宅建設・中古住宅・土地の購入助成、賃貸住宅建設等の助成、家賃助成の実績は。

【答弁】住宅建設3件、中古購入5件、土地購入持家用20区画の内2区画、賃貸用4区画の内1区画購入に助成、家賃助成8件の実績だった。

【質問】地価の割で宅地分譲しても売れない原因は。

【答弁】購入後の住宅建築に費用を要するので慎重になったと思われる。

【質問】市は補助金を出して起業支援しているが、申請件数は。

【答弁】問合せが2件だけだった。

【質問】AKABIRAベラスによる地元PRの成果は。

【答弁】スイートコーン、ホットレッグが好評。今後しばれ焼き肉、がんがん祭りなどをPRしていく。

【質問】高齢者に必要な医療・福祉サービス付き住宅整備について問う。

【答弁】常駐生活相談員や介護従事者の人材確保が厳しいので、建設計画がない。今後、人材確保のための施策を進めていく。

【質問】介護サービス専門職養成講座の開設について問う。

【答弁】社協の協力を得て「介護職員初任者研修」を29年度から実施する方向で検討を進めている。

【質問】市街地のホテルが撤退して不便を来しているが、どこまで調査検討が進んでいるのか。

【答弁】29年度に規模、立地場所等検討していく。

【質問】空き家の有効利用について問う。

【答弁】中古住宅購入時の助成の他、ホームページや固定資産税納付書発送時に空き家情報を発信し、売買7件、賃貸1件の契約が成立している。

公明党



五十嵐美知

市長の氏名表示について

【質問】市長はこれまで戸籍名と通称名を使い分けて、法律行為などの行政文書に戸籍名「菊島美孝」を使用し、法的効果を伴わない行政文書に「菊島好孝」を使われているが、赤平市長名の行政文書であれば法律を遵守する立場から戸籍名に統一すべきでないか問う。

【答弁】ご意見を真摯に受け止め新年度4月から戸籍名を「好孝」に変え統一する努力をする。

【質問】子育て支援について

【質問】子育て支援をすき間なくトータルで取り組むことが喫緊の課題で若者定住を考える上から、結婚して「子育てするなら赤平で」との発想で出産祝い金を考えてもいいのではないか。

【答弁】出産祝い金の贈呈については「赤平市子ども子育て会議」等で贈呈の有無も含め総合的に検討する。

【質問】保育料を2人目以降無料にすることによる強

いメッセージが人口減少対策に繋がると思うが問う。

【答弁】保育料の第2子以降無料化は、現在該当する対象者は18人、年額約216万円で赤平市は第2子目以降無料というPRとなることも考えられる。今後の財政状況も含め検討する。

【質問】保育所の給食は3歳から主食を持って行くが夏場は完全給食になっていく。保護者から仕事に行く前の準備軽減ができれば、完全給食にしてはどうか。

【答弁】保育所の給食については、働く保護者が多く完全給食を希望する方もいる。主食の経費は年額60万70万円だが現場と意見交換して実施が可能かどうか検討する。

【質問】保育料の第2子以降無料化と完全給食をあわせ年額約300万円で実施できると思うが、市長の考えを伺う。

【答弁】担当課と相談し進めていきたいと思う。

夢現会



植村真美

豪雨災害のその後の対応について

【質問】庁舎内全体の情報共有について、課の中でも十分に意見聴取して課長会議など行っているのか。

【答弁】意見聴取などは実施していない。今後検討していく。

【質問】自主防災組織の取り組み等、町内会とのさらなる連携を考えていくとあつたが、その後、話し合いや具体的な対応策の考えは。

【答弁】まだまだ足りないと思う。町内会連合会総会で、話し合いの要望を受けているので対応していく。また、自主防災組織の設置についても相談は受けているが、その後、具体的な話をしていない。支援の方法など話し合い、連携を深めていく。

【質問】商店街全体が売り上げを伸ばすことにつながる具体的な案が必要になっていると思うが。

【質問】市街地の活性化対策について

【質問】商店街全体が売り上げを伸ばすことにつながる具体的な案が必要になっていると思うが。



【答弁】商店主や地域の方と様々な課題等の聞き取りを行い、課題解決に向けた有効な施策についても模索していく。

農業者への意見聴取の実施について

【質問】農業者の取り巻く環境の変化も著しいので、意見聴取、アンケートの実施を行うべきでは。

【答弁】どのような支援が必要なのか新たに聞き取りアンケート調査等を行い、今後の営農につながるように、関係機関と話し合っていく。

独居高齢者の葬儀（火葬場までの対応）について

【質問】独居高齢者の葬儀で、親族がすぐに来てもらえない場合等、遺体の安置場所がないが、設置の考えはないのか。

【答弁】現在、滝の川斎苑改築の基本計画案が策定されたが、霊安室の設置はない。来年度の基本設計で、構成市町での話し合いの中で必要性を聞いていく。



夢現会



竹村恵一

要支援者名簿作成の進捗状況と情報共有について

【質問】現段階での作成の進捗状況と現状はどうなっているのか。

【答弁】名簿は半年毎に更新している、提供のための同意書は70%の回答がきており、本年度中には同意をいただいた方々を取りまとめ災害発生時に利用できるようにする。また、各町内会にも提供できる準備をする。

高齢者の居住環境整備について

【質問】サービス付高齢者向け住宅整備の考えと進捗状況について伺う。

【答弁】市内にはその様な住宅は無い事から民間業者へ建設促進を掲げているが介護などの専門職の人材確保が難しい事で建設計画が今のところない。必要性は高いと認識している中で、建設促進と高額な入居費用の軽減を図るため、建設時の補助制度の創設を検討し人材確保策も講じて行く。

文化財の保護について

【質問】社会教育の推進の観点から見た考え方について伺う。

【答弁】文化財は守って行かなければならない、次の世代に伝えるべき価値を持っている物とし、重要性を伝えなければならぬと考えます。郷土の資料は、公共施設等総合管理計画に基づき、今後歴史資料館（仮称）を整備して行く予定。歴史を学ぶ学習講座も小・中学校より要望があれば出前授業も行う。

【質問】まちづくりの観点から見た考え方について伺う。

【答弁】全国的に地域文化財をまちづくりとして活用する機運が高まっており、そこから市外より多くの方をまちに呼び込む事とまちの活性化のため有効活用を図っていききたいと思う。



民主クラブ



向井義擴

地域担当職員の配置について

【質問】行政運営は市民と密接な関係を築けているかが災害時や市民サービスに無駄のない行政が図られるのではないかと。

福祉の部分では、エリアサポーターがいる。その方がきめ細かく、効率的で、病気の予防のためや健康寿命を延ばす活動などは結果的に医療費の低下となつて、行政コストの削減になる。

協働のまちづくりというのも行政と市民が一体化することによって行政コストを削減していくという発想であったはず。今、1万人のまちづくりがどうあるべきか、市内も7つぐらいのエリアに分けられると思うが、それぞれの地域とコミュニケーションを図りながら進める地域担当職員制を作るべきではないか。

【答弁】地域担当職員については、地域自らが主体的に活動を行うため、地域の課題に応じて、話し合いや

活動に参加し、情報提供や助言、行政との橋渡し役などを行うものとして、スクラムプランに謳っていたが、早期退職制度の実施から、予想を超える職員の大量の退職により、職員の業務量も増大し、なかなか取り組むことが困難な状況となり、実施には至っていないものの、現在、保健師は地域担当制としており、地域住民の健康相談など地区活動を積極的に進めているほか、住民懇談会等での意見交換や要望の把握、更には、町内会連合会の設立等もあり、地域コミュニティ活動の推進が図られてきたところである。地域担当制を導入している団体も増えてきているが、町内会連合会等と十分に連携をとり、活発な地域コミュニティ活動の展開につなげていきたいと考えている。



民主クラブ



若山武信

市長の市政における 考え方について

【質問】トップセールスマンとして全国的な当市売り込みに尽力され敬意を表する。しかし、市民・職員から見ると、その考え方や言動に疑問を寄せられる点も多く、これまでの市政執行での考え方や問題点について検証してみた。

①公務出張への考え方について

市長就任以来の出張に関する資料から、当市との関連性が少ないと思われるような案件・要件、行事・式典等への出席の出張が時々見受けられ、また、新聞掲載での市長動静欄には「懸案事項要請」との表記のみで行動内容が不明確なものもある。市民から誤解を招くような出張への見解を求めよう。

【答弁】当市の課題解決のため、様々な機会を活用して関係省庁、関係機関等を訪問し財政的支援等を要請、首都圏にてふるさと納税のパンフレット配布等も行う。今後は関係企業も回る。懸

案事項要請については今後なるべく具体的に公表していく。

②市政執行にあたっての心がけについて

市長は常に「スピーディー」というのが、最近の検討に十分で熟慮にかけた提案が目につく。現在の組織体制にゆがみが生じているのでは。担当課は優秀でも関係各課との連携が取れていない。連携が密であったからこそ迅速の確な対処となるのである。仕事の基本は法律であり、判断を間違えようと市民に迷惑がかかると慎重さが必要。民間出身の市長にはもどかしさを感じると思うが、スピーディーな仕事へのあり方に一考を要する。市長は行政間の議論を先取り傾向にあり、部下の発言を軽視するとの声も聞かえてくる。担当者の言い分も十分に聞き分けはしないか。氏名の使い分けには職員も迷惑し市民も混乱している。市長の言動は職員の間でワザマンとの指摘もあるが如何か。

【答弁】市民サービス向上のため熟慮しながらスピーディーな対応に心掛けて行く。至らない点も多々あるが、赤平をよくするため職員に無理をお願いすることもありますが、同じ意識の下、職員と一緒に赤平のために働く覚悟。

議員派遣視察 No.1

全国市議会議長会研究フォーラム in 静岡 10月19日～20日

(新政クラブ：北市 勲、獅畑輝明、御家瀬 遵)

2000年の地方分権改革以降、国が地方公共団体に委任した機関委任事務を処理した中央集権時代は終り、事業官庁型自治体から、今や分権時代の政策官庁型自治体が期待され、地方議会は政治の主役として多方面での役割が注目されている。フォーラムは、地方議会の果たすべき役割を担うための、議会改革を提案するものでした。以下要点を報告します。住民が、議会の議員と首長を、直接別々に選挙で選ぶということは、住民の代表機関が二通りになっていることから、これを二元代表制と呼び、議会が首長を指名しないので、国の議院内閣制のような与野党関係はなく、独立対等にして、相互に緊張関係を保ちながら協力して自治体運営に当たる責任がある。首長が提案する施策案は、地域の将来展望の中に位置づけられているか、他の施策案は考えられないか、軽視・放置・無視している施策課題はないか、立案過程で十分住民の声を吸収したか、施策の総合化が不十分なため無駄で不適切な経費をかけることはないか、住民に負担や不便をかけ新たな困難を生み出すことはないかなどを審議する。合議体の議会は、住民の多種多様な意見をくみ取り、争点を鮮明にさせ、公開の審議を通じて広く周知し、その集約を図り、最良な意思決定を行うことを基本任務とする行政の最終決定機関である。議会は、主権者である住民に代って執行機関を監視・評価し、執行機関の独走をチェックする機関で、具体的には一般質問、議案に対する質疑、委員会での審査、所管事務調査等がある。総合計画、基本構想等の策定権限は首長に専属せず、議会・首長による協働作業でなければならない。

今後、当市議会において、議会改革を進めていく中で参考にしていきたい。



議員派遣について

議員としての資質の向上を図ることを目的として、今期から研修会参加及び先進地視察等を任期中1人2回、1人あたり1回の旅費限度額を10万円としました。今任期中1回目として各会派で視察候補地を提案し議論の結果、新政クラブ3名、夢現会2名、民ク・公明・共産の合同で5名と3グループで研修会、視察に行きました。

平成28年度一般会計補正予算に

修正案が出されましたが、原案可決！

平成28年度一般会計補正予算に対する修正案が提出されました。

その内容は、教育費で計上された、炭鉱遺産公園ガイダンス施設実施設計委託料「1,080万円」を「0円」とするものでした。

修正案は、それぞれ反対者、賛成者の討論を経て採決を行った結果、賛成少数により、原案が可決されました。

議会の動き



調査視察に行ってきました！！

視察の内容は、今月号から順に掲載していきます。

10/17～19 天理市、伊賀市、京田辺市調査視察

(夢現会)

10/18～21 全国議長会研究フォーラムin静岡(新政クラブ)

10/30～11/2 邑南町、日南町行政視察

(民主クラブ・公明党・日本共産党)

11/16 行政常任委員会

・人事院勧告の概要について

11/16 議会改革検討協議会

11/25 議会運営委員会

11/25 行政常任委員会

・アスベストについて

・JR根室本線について

・エルム高原施設の指定管理について

・地域おこし協力隊の募集について

・公共土木施設災害復旧事業(災害査定)について

・手話言語の環境整備について

11/30 第4回臨時会

12/8 議会運営委員会

12/8 行政常任委員会

・炭鉱遺産公園について

・手話言語の環境整備について

12/13 議会運営委員会

12/13 第4回定例会(～16日)

12/14 行政常任委員会

・赤平市税条例等の一部改正

・赤平市国民健康保険条例の一部改正

・赤平市農業委員定数条例の全部改正

・公の施設の指定管理者の指定について

(赤平市保養センター外3施設)

・赤平市一般会計補正予算

・赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略について

・統合中学校に係る経過報告について

・赤平市立小・中学校適正配置計画の変更について

12/27 行政常任委員会

・あかびら市立病院の経営状況(8・9・10・11月分)について

12/27 議会改革検討協議会



かわら版編集委員会
委員長 植村 真美

五十嵐美知
御家瀬 遵
向井 義 擴
木村 恵

明けておめでとう、よいま
す。
昨年は、北海道の多くの地
域で災害に見舞われました。
赤平においても近年にない大
雨が発生し、改めて自然の恐
ろしさを実感したところです。
災害が起きた場合、当然被
害を最小限に防ごうことが肝
心です。そのためには、どんな
取り組みが必要なのか？ 私
たち議員にも宿題を出され
た気持ちでいっばいです。
本年は、明るい一年であること
を願い、これまで以上に議員
活動を頑張ってくださいの
で、応援よろしく願いたし
ます。(五十嵐)

編集後記